

只見町地域活動支援センター

「じねえんと」が開所しました

4月5日に地域活動支援センター「じねえんと」の開所式が行われ、目黒町長はじめ関係者のみなさんと開所を祝いました。

施設では、精神・知的・身体に障がいがある方に創作活動や生産活動の機会を提供し、

地域交流、農作業・手工芸・パソコン教室・食事づくりなどの支援を行います。

また、様々な障がいに関する相談もおこなっており社会福祉活動センターやまびこにおいて月曜日から金曜日の午前9時30分～午後6時まで開所しています。



▲開所を祝う関係者

ご利用についてのお問い合わせ先

只見町地域活動支援センター
「じねえんと」
只見町大字長浜字唱平60
電話:0241-72-8338

区長との意見交換

平成25年度 町政報告会

4月24日 季の郷 湯ら里で、町政報告会が開かれ各行政区長が出席しました。

目黒町長はいさつで「豪雨災害の復旧事業、JR只見線の全線再開通、町の経済活力・地域活力の停滞など問題は多々ありますが、区長の皆さんと情報を共有しこれらの問題に取り組んでいきたいと思えます」と述べました。

続いて、25年度の町主要事業として担当課長から説明し、意見交換が行われました。

災害時の避難誘導対策や豪雨災害復旧工事状況などについて各区長より質問や意見が出され、担当課長などから現状報告や今後の事業の進め方などについて説明しその後意見交換をしました。



▲意見交換で発言される区長



▲総会の様子

納期内の完納を推進します
納税貯蓄組合連合会総会

只見町納税貯蓄組合連合会総会が4月12日に朝日地区センターで開かれ、30名の組合長が出席しました。はじめに表彰が行われ、概ね10年間にわたって組合長を勤められた沖納税貯蓄組合長の渡部虎雄さんが永年組合長として表彰されました。また、20年以上勤続された前会長の菅家一徳さんには特別表彰がなされました。納税貯蓄組合では今年度も納税意識の高揚と納期内納付を推進していきます。

只見町固定資産評価審査委員会
委員に舟木氏と本名氏



▲舟木氏

4月4日に、役場本庁の町長室において、舟木和一氏（小林）と本名保美氏（黒谷）に目黒町長から辞令書が交付されました。任期は平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間です。審査委員は3名で、酒井竹男氏（只見）の任期は平成26年9月30日までです。

▼本名氏



第12期生 15名
只見町山村留学生対面式



▲第12期 山村留学生のみなさん

只見高等学校に入学した山村留学生の対面式が4月8日に只見地区センターで行われ、目黒町長はじめ町教育関係者が第12期生15名と対面し留学生は抱負などを語りました。今期の山村留学生は県内だけではなく千葉県や東京都などの出身者もあり、県内出身者9名、県外出身者6名となっております。